

# 総務委員会、厚生委員会で条例案、市民からの陳情の審査をおこないました

6月羽村市議会は29日に最終日をむかえました。今回は、21日におこなわれた総務委員会と厚生委員会についてお伝えします。二つの委員会では、条例案1件、市民からの陳情5件の審査などがおこわれ、総務委員会には中原議員、厚生委員会には鈴木議員が出席し、意見をのべました。

## ことばの解説

### 「条例」(じょうれい)

自治体が定める法です。国が定めるのが「法律」です。条例は、法律の範囲内で定めることができます。

### 「陳情」(ちんじょう)

市民から、市役所や議会にたいして、提出される要望書です。誰でも出せ、議員の紹介も必要ありません。



2007年7月1日 No.854  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 史  
日本共産党羽村市議団のHP  
http://www.jcpamura.org  
事務所 電話 579-2132 Fax579-2106

日本共産党羽村市委員会は見解を発表しました。



総務委員会

中原まさゆき 議員

### 「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の延長に関する陳情

<陳情内容>

「駐留軍関係離職者等臨時措置法」の有効期限の延長を求める意見書を採択し、その実現方について国会、内閣等への働きかけをお願いします。

中原議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> この法律は、在日米軍基地の整理・再編などにより、そこで働いていた労働者が職を失うことになり、それが特定の地域で多く発生することから、設置されたものである。

現在においてもアメリカの国防政策や国際情勢の影響で、米軍基地での雇用関係は不安定にあり、ひきつづき同法にもとづく対策は不可欠である。

羽村市議会としても陳情で要請されている同法の再延長を求める意見書を採択する必要があり、本陳情は採択すべきである。

<この陳情は、総務委員会で採択されました>



厚生委員会

鈴木たくや 議員

### 羽村富士見霊園墓地拡張部分の一般公募についての陳情書

<陳情内容>

羽村富士見霊園墓地拡張部分の利用を一般公募で行なうべく市に働きかけ願いたい。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 羽村駅西口区画整理地域内のお墓を、まとめて富士見霊園に移すことを、羽村市は「区画整理事業の一部」としておこなっている。「区画整理事業の一部」としておこなっている事業のお金は、区画整理会計から出されるべきである。しかし、すでに一般会計のお金で、富士見霊園の工事がおこなわれているのだから、その部分は「西口専用」ではなく、一般公募で募集するように変更すべきである。以上の理由から、本陳情は採決すべきである。

<この陳情は、厚生委員会で不採択となりました>

賛成：鈴木 反対：船木(新政会)、西川(公明)、水野(羽村21)、小宮(新しい風)

裏に  
続く

## 厚生委員会での陳情審査のつづき



厚生委員会

鈴木たくや 議員

### 西多摩衛生組合の小金井市のごみ受け入れに関する陳情書

<陳情内容>

小金井市のごみ受け入れは1年のみとし、平成20年3月で終了とするよう西多摩衛生組合に働きかけてください。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 今回の小金井市のごみ受け入れは、「多摩地域ごみ処理広域支援協定」によるものと西多摩衛生組合は説明している。しかし、私は、小金井市の失策が原因で、広域支援の対象ではないと考える。

市民には疑問・不安が解決されないまま残されており、この声にこたえて対策をとる責任を羽村市は負っている。すくなくとも、現在の契約が切れる平成20年3月で受け入れを終了するよう、羽村市としても西多摩衛生組合にもとめていくべきである。

以上の理由から本陳情を採択すべきである。

<この陳情は、厚生委員会で不採択となりました>

賛成：鈴木 反対：船木、西川、水野、小宮

### 西多摩衛生組合の小金井市のごみ受け入れに関する説明会を求める陳情書

<陳情内容>

小金井市のごみ受け入れに関する一般市民対象の説明会を開催してください。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 西多摩衛生組合は、周辺住民を対象に説明会を開催している。しかし、周辺住民以外でも、小金井市のごみ受け入れに関する疑問・不安の声は大きい。

市は、「窓口で質問に来れば、説明する」という消極的姿勢ではなく、全市民向けの説明会を開催し、積極的に市民の声にこたえていく責任がある。

以上の理由から、本陳情を採択すべきである。

<この陳情は、厚生委員会で不採択となりました>

賛成：鈴木、水野 反対：船木、西川、小宮

### 西多摩衛生組合の操業状況を日常的に公表することを求める陳情書

<陳情内容>

西多摩衛生組合の操業状況を広報などで日常的に公表し、定期的に一般市民対象の説明会を開催するよう、西多摩衛生組合に要請してください。

鈴木議員は採択すべきとの意見を述べました

<大要> 陳情の添付資料にもあるように、西多摩衛生組合において、故障などは日常的に起きている。

ごみ焼却施設は、「危険がともなう施設」である、との認識を、操業者、羽村市、市民とももってこそ、重大な事故を防ぐことができる。

ホームページでの情報公開や定期的な報告会の開催など、誰もが容易に操業状況の実態を知ることができるよう、羽村市は西多摩衛生組合へ要請をしていく必要がある。以上の理由から本陳情を採択すべきである。

<この陳情は、厚生委員会で不採択となりました>

賛成：鈴木 反対：船木、西川、水野、小宮

厚生委員会では他に、小中学生の医療費窓口負担を、3割から2割に引き下げる条例案を審議し、可決されました。鈴木議員は「保護者の願いにこたえる条例案で賛成。さらに無料化にむけ努力すべき」と意見を述べました。